

# 子ども健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)

## 論文概要の和文様式

雑誌における論文タイトル:

Health-related quality of life of mothers and developmental characteristics of very low birth weight children at 2.5 years of age: results from the Japan Environment and Children's Study (JECS)

和文タイトル:

母親の健康関連 QOL と極低出生体重児の 2.5 歳時の発達特性

ユニットセンター(UC)等名:メディカルサポートセンター

サブユニットセンター(SUC)名:

発表雑誌名: Health and Quality of Life Outcomes

年: 2023 DOI: 10.1186/s12955-023-02156-4

筆頭著者名:佐々木 八十子

所属 UC 名:メディカルサポートセンター

目的:

子どもの発達の程度は、母親の健康関連 QOL (HRQoL) 低下のリスクと関連する可能性が示されている。本研究は、極低出生体重児 (VLBW) の 2.5 歳時の発達特性を記述し、母親の HRQoL と、日本語版 Ages and Stages Questionnaire (J-ASQ-3) に基づく子どもの発達の程度との関連を検討することを目的とした。

方法:

エコチル調査のデータを用いて横断研究を行った。合計 104,062 件の胎児記録のうち、357 名の VLBW 児 (出生体重  $\leq 1500$ g) について、子どもの発達 (J-ASQ-3) と母親の身体的または精神的 HRQoL との関連を評価するために、単変量および多変量線形回帰分析を行った。また、社会的つながりやパートナーの協力と母親の HRQoL との関連を子どもの発達の程度別にサブグループ解析を行った。

結果:

少なくとも 2 つの領域で発達遅滞が疑われたこと (SDD) は、母親の精神的 HRQoL の低下と有意に関連していた。共変量の調整後、母親の HRQoL は子どもの発達と有意な関連は認められなかった。何らかの社会的支援があると回答した母親において、2 つ以上の領域で SDD の子どもを持つことは、子どもの SDD が少ない母親と比較して、精神的 HRQoL と負の相関を示した (回帰係数 -2.337)。パートナーの育児協力があると回答した母親において、2 つ以上の領域で SDD の子どもを持つことは、子どもの SDD が少ない母親と比較して、精神的 HRQoL と負の相関を示した (回帰係数 -3.785)。

考察 (研究の限界を含める):

この研究では、母親の精神的 HRQoL の低下は、VLBW 児の SDD と有意に関連していることがわかったが、身体的 HRQoL との関連は認められなかった。また、社会的つながりやパートナーの協力があると報告した母親であっても、SDD の子どもを持つ母親は、精神的 HRQoL が有意に低いことを示した。しかし、この矛盾の理由は不明であり、さらなる調査が必要である。先行研究が限られているため、本研究の結果と単純に比較することはできないが、VLBW 児を持つ母親の継続的な支援と定期的な子どもの発達評価は重要である。本研究は、NICU 入院に関するデータの欠落、調査への回答が困難な母親が除外されていること、HRQoL と子どもの発達は、1 時点のみの評価であることなどの限界がある。

結論:

母親の精神的 HRQoL の低さは SDD と独立して関連していたが、共変量の調整後に関連は認められなかった。社会的つながりやパートナーの協力が母親の HRQoL や子どもの発達に及ぼす影響を明らかにするためにはさらに調査が必要である。SDD を有する VLBW 児の母親に特に注意を払う必要があり、早期介入と継続的な支援の提供は重要であると考えられる。